

平成27年度昭和区区民アンケートの調査結果

調査の概要

1. 調査の目的

区民の区政に対する認知度や意見等を把握し、次年度区政運営方針の策定や、まちづくり事業の参考とする。また、区役所に対するニーズの傾向などを区にお住まいの方にわかりやすく説明することを目的とする。

2. 調査の地域

名古屋市昭和区の全域

3. 調査の対象、数

区内居住の20歳以上の男女 2,000人

4. 調査対象抽出方法

無作為抽出法

5. 調査方法

通達員配布後 郵送回収法

6. 調査期間

平成27年6月10日～6月26日

7. 回収数

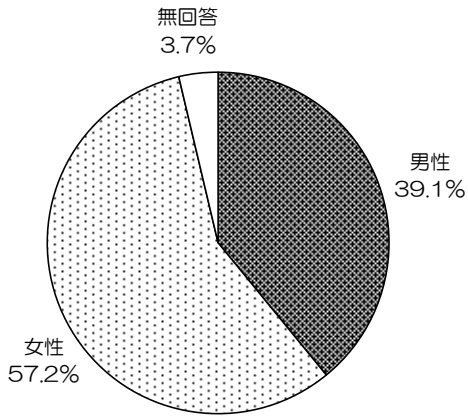
820人(41.0%)

(参考)平成26年度:872人(43.6%)

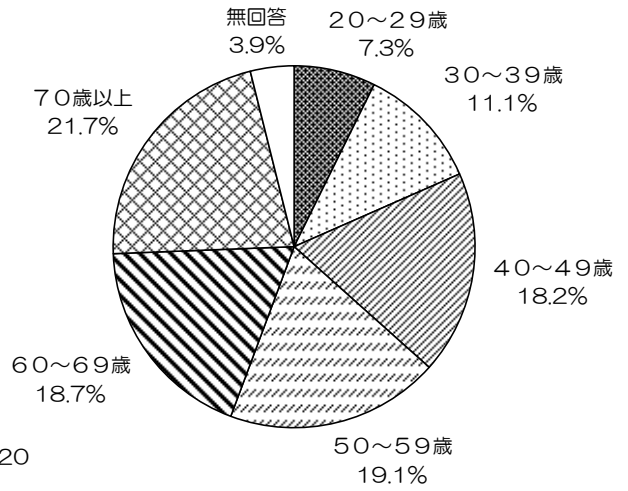
注:文章や表、グラフに記してある構成比率(%)は、小数第2位で四捨五入しているため、総和が100.0とならないものがあります。

調査対象者の属性

性別



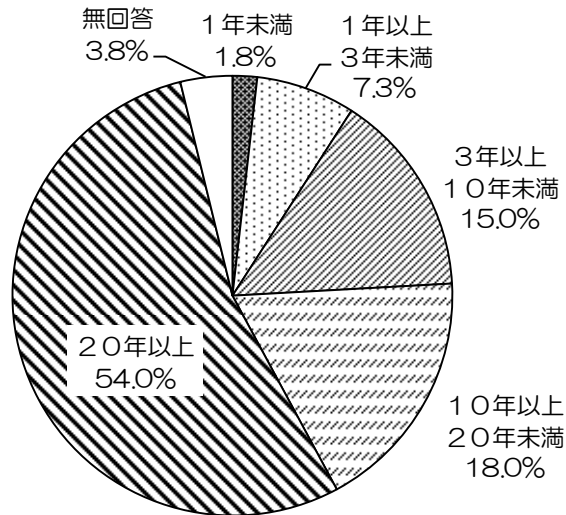
年齢



件数=820

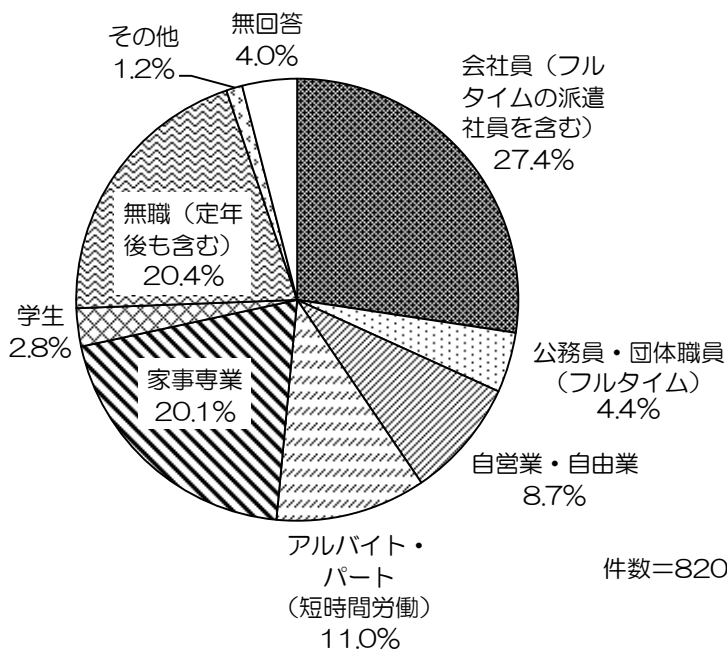
件数=820

居住年数



件数=820

職業



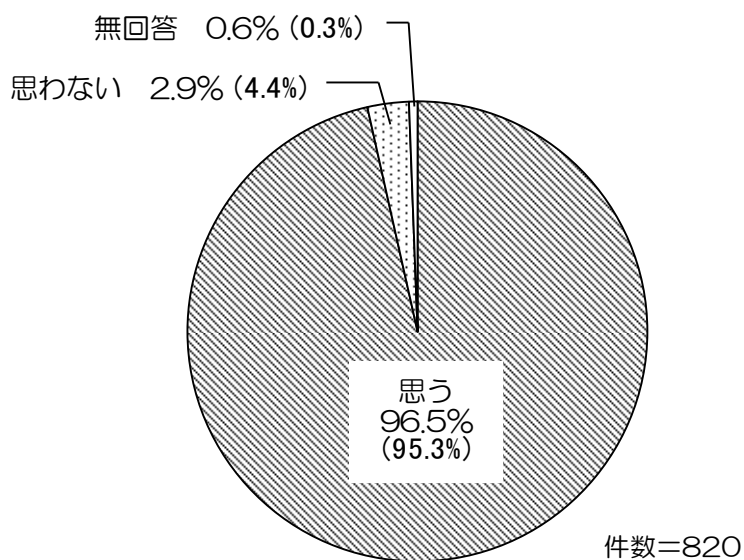
件数=820

1 昭和区のまちづくりについて

○ 昭和区では、毎年度、「区政運営方針」を策定し、以下の基本目標を掲げています。
基本目標 みんなが住み続けたくなるまち昭和区

(1) 昭和区居住継続意向

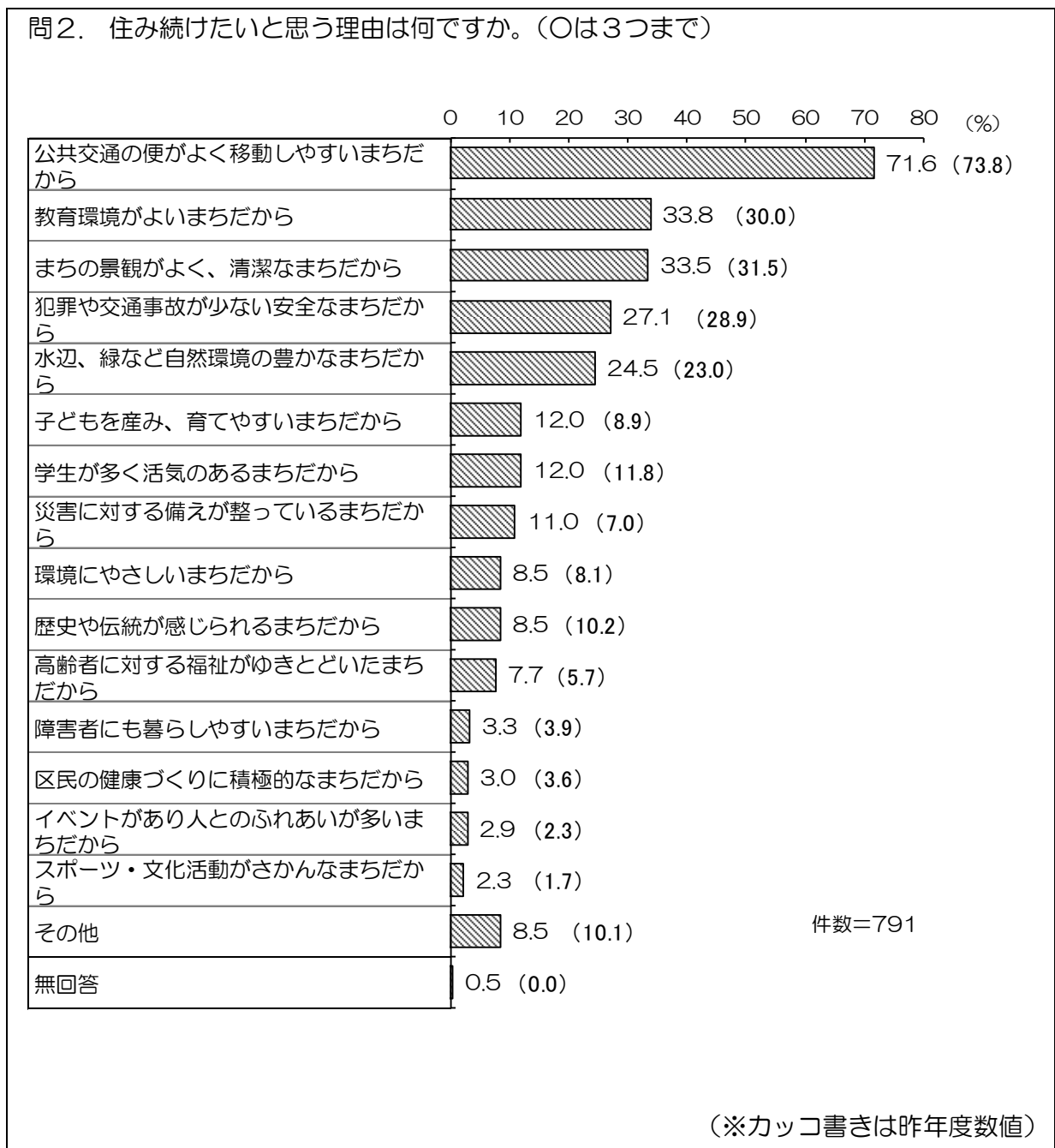
問1. あなたは、今後も昭和区に住み続けたいと思いますか。引っ越す予定のある方は、住み続けたいまちだったかについてお答えください。(いずれかに○)



(※カッコ書きは昨年度数値)

今後も昭和区に住み続けたいと「思う」区民が96.5%（昨年度95.3%）と大半を占め、「思わない」は2.9%（昨年度4.4%）と少なくなっています。

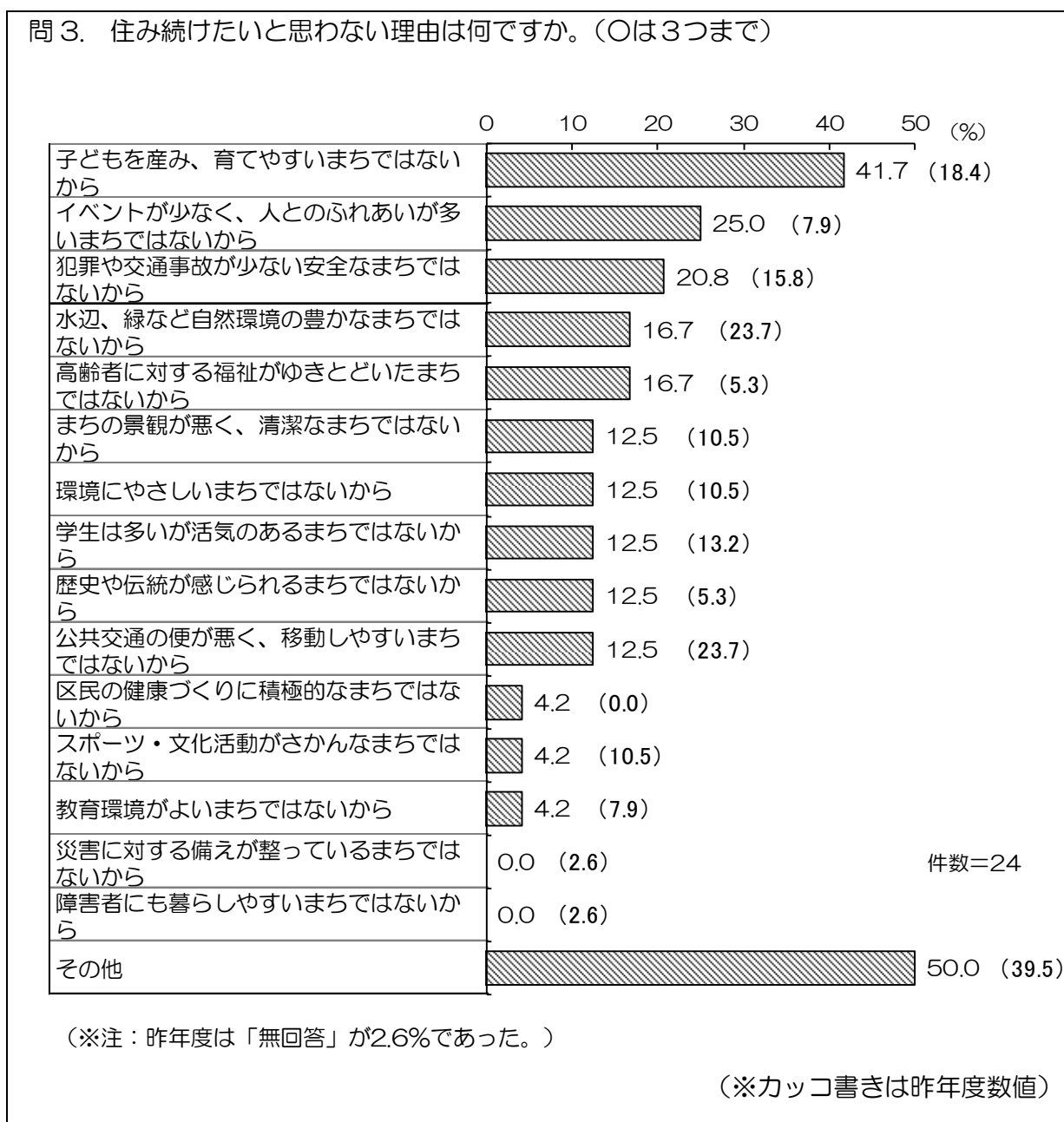
(2) 住み続けたいと思う理由



住み続けたいと思う区民（791人）の理由としては、以下のようになっています。

- ・「公共交通の便がよく移動しやすいまちだから」71.6%（昨年度73.8%）
- ・「教育環境がよいまちだから」33.8%（昨年度30.0%）
- ・「まちの景観がよく、清潔なまちだから」33.5%（昨年度31.5%）
- ・「犯罪や交通事故が少ない安全なまちだから」27.1%（昨年度28.9%）
- ・「水辺、緑など自然環境の豊かなまちだから」24.5%（昨年度23.0%）

(3) 住み続けたいと思わない理由



住み続けたいと思わない方(24人)の理由としては、「子どもを産み、育てやすいまちではないから」があげられています。

○ また、基本目標を達成するために、4つの重点施策を掲げています。

重点施策 ・安心・安全・快適に暮らせるまちづくり

【テーマ：防災、防犯、交通安全、町の美化、犬猫の飼主のマナー向上など】

・地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり

【テーマ：高齢者・障害者支援、子育て支援、健康づくり支援など】

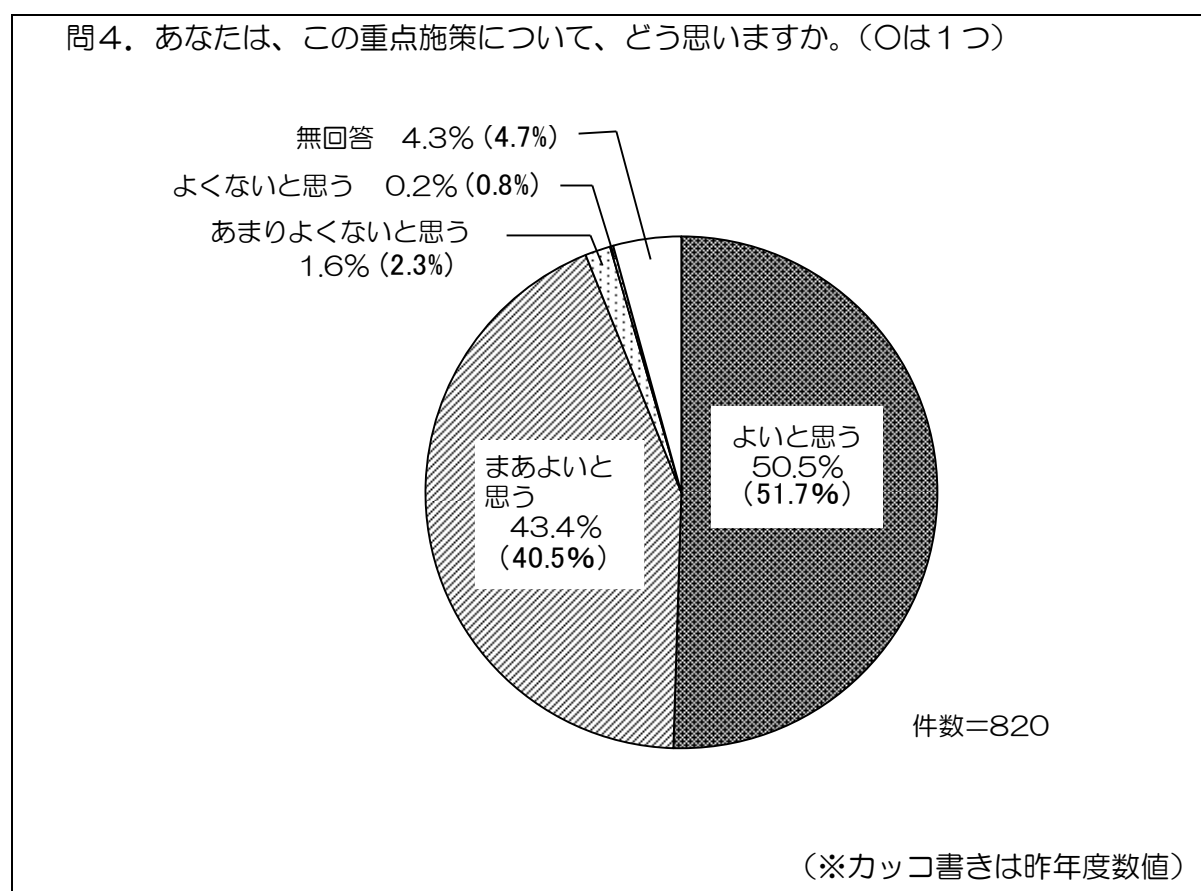
・ふれあいやにぎわいを感じられるまちづくり

【テーマ：まちの魅力発信、まつりなどのイベント、文化スポーツ活動支援など】

・信頼され愛される区役所づくり

【テーマ：窓口サービスの向上、広報の充実、区民ニーズの把握など】

(4) 重点施策の評価



重点施策の評価は、

・「よいと思う」が50.5%と半数で、「まあよいと思う」(43.4%)を合わせると93.9%(昨年度92.2%)となっています。

具体的な意見の記入 94件

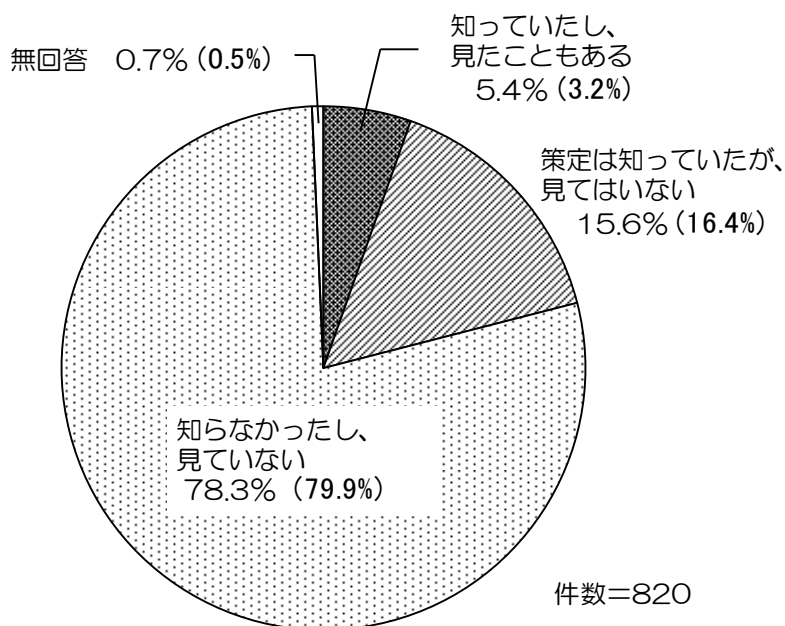
問4. 足りない視点(施策)または、不要だと思う視点(施策)がある場合には、簡潔に記入して下さい。

重点施策についての意見を自由回答形式でたずねたところ、防犯、交通安全や犬猫の飼い主マナーに対して不足している等94件の意見があげられました。

2 区政運営方針について

(1)「区政運営方針」策定の認知、閲覧度

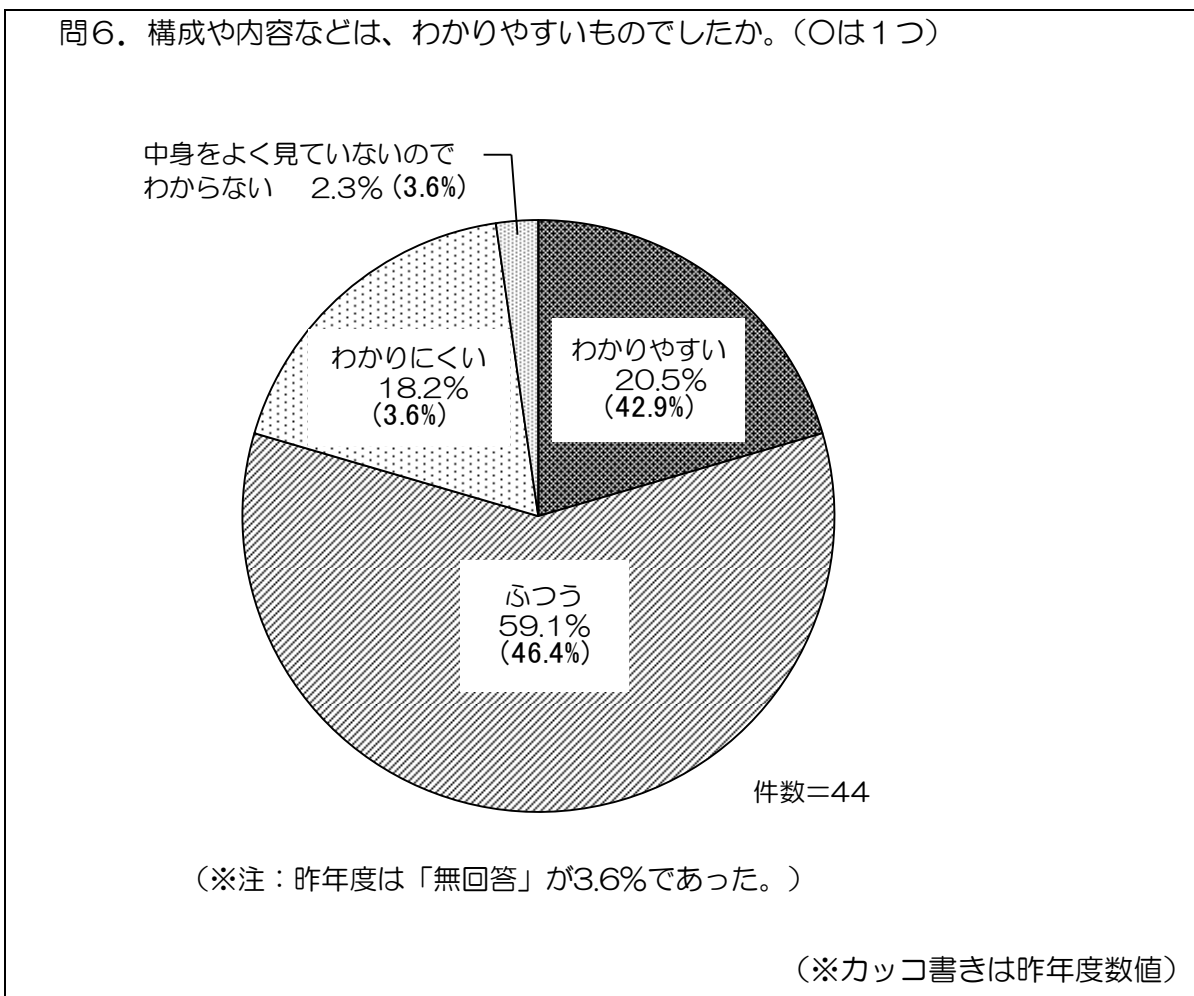
問5. あなたは、このアンケートを記入する以前から、「区政運営方針」が策定されていることを知っていましたか。また、昭和区の区政運営方針（平成23年度～25年度は昭和区ホットほっとプランという名称）をご覧になったことはありますか。
(〇は1つ)



(※カッコ書きは昨年度数値)

「区政運営方針」については、「知っていたし、見たこともある」は5.4%（昨年度3.2%）で、「策定は知っていたが、見てはいない」15.6%を合わせて21.0%（昨年度19.6%）と認知率は2割となっています。

(2)「区政運営方針」の構成や内容の評価



「区政運営方針」を見た方(44人)では、構成や内容などが「わかりやすい」は20.5%で、「ふつう」59.1%が6割を占め、合わせて79.6%(昨年度89.3%)と8割の方がふつう以上と評価しています。

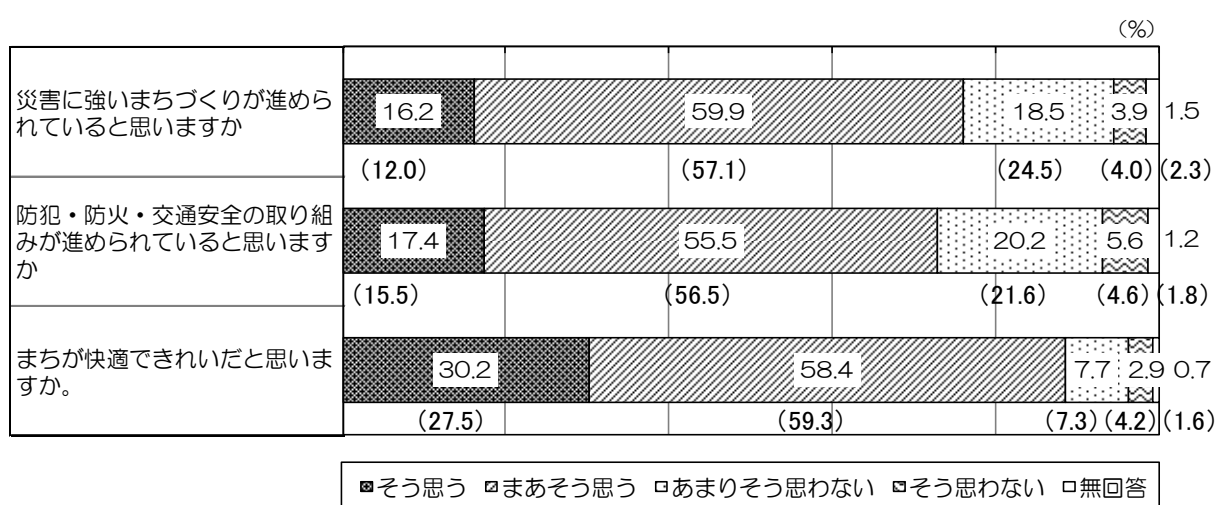
○区政運営方針の各重点施策に沿って、施策がどの程度実現しているかについて、あなたの評価をお答えいただきます。

※お答えいただく際には、別紙「26年度区政運営方針に掲載した事業の実績・成果」を参考にしてください。

(3) 重点施策1『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』について

1)『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』の実現度

問7. 重点施策1『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』が、昭和区において、どの程度実現できていると思いますか。(〇は1つ)



(※カッコ書きは昨年度数値)

重点施策1『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』についての実現度のプラス評価(「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合)は、

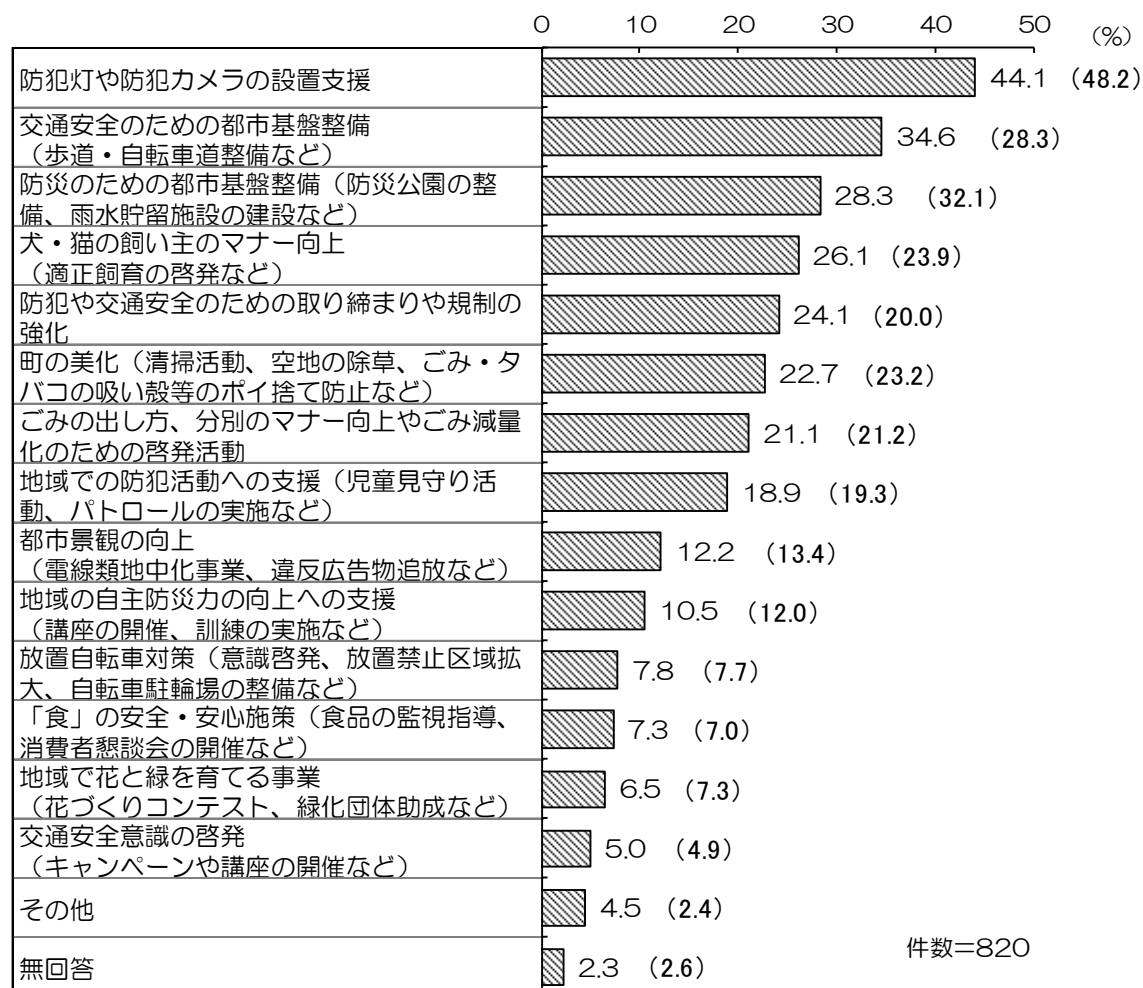
- ・「まちが快適できれい」88.6% (昨年度 86.8%)
- ・「災害に強いまちづくりが進められている」76.1% (昨年度 69.1%)
- ・「防犯・防火・交通安全の取り組みが進められている」72.9% (昨年度 72.0%)

となっており、7~8割台がプラスの評価となっています。

一方、「そう思わない」という評価は、3~6%となっています。

2) 『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』に関して、今後力を入れて欲しい取り組み

問8. 重点施策1 『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』に関して、あなたが今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みは何ですか。(〇は3つまで)



(※カッコ書きは昨年度数値)

重点施策1 『安心・安全・快適に暮らせるまちづくり』に関して、今後力を入れて欲しい取り組みとしては、

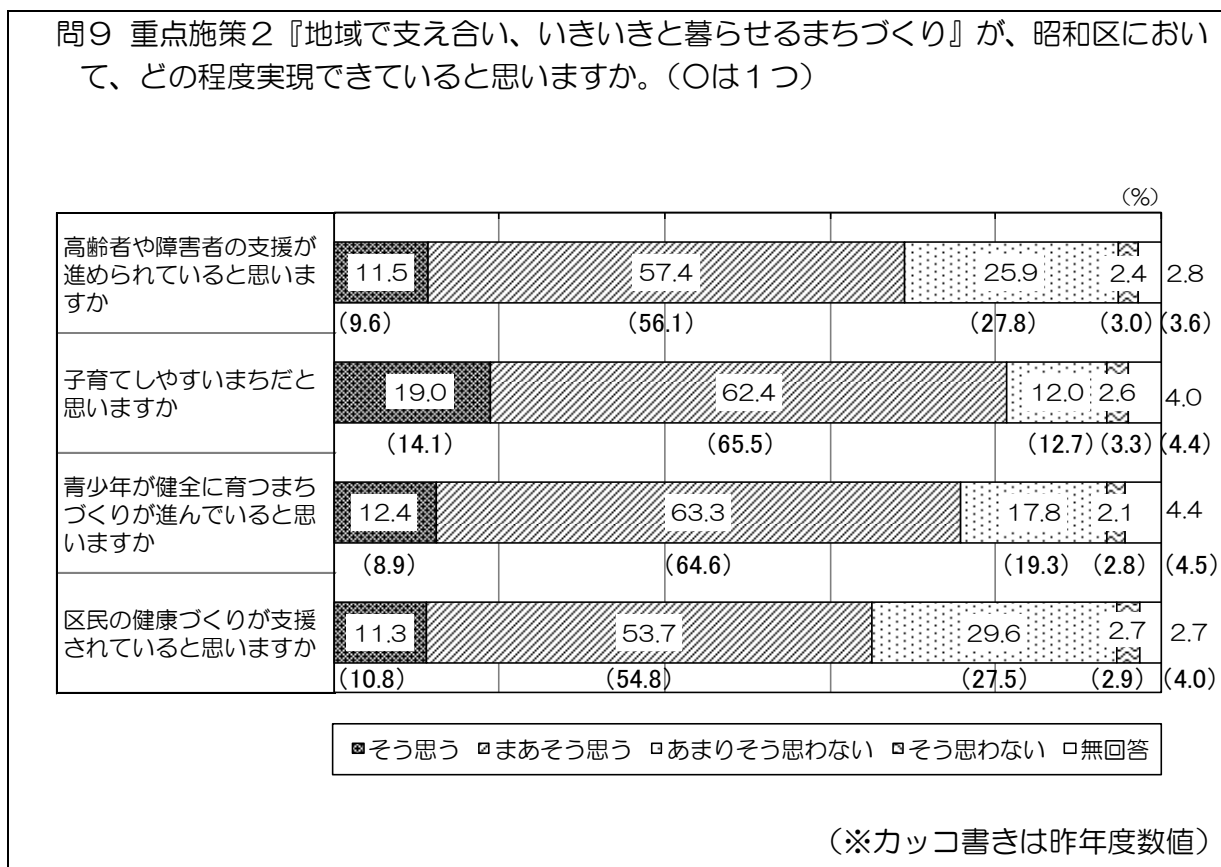
- ・「防犯灯や防犯カメラの設置支援」44.1% (昨年度 48.2%)
- ・「交通安全のための都市基盤整備 (歩道・自転車道整備など)」34.6% (昨年度 28.3%)
- ・「防災のための都市基盤整備 (防災公園の整備、雨水貯留施設の建設など)」28.3% (昨年度 32.1%)

とハード系の事業が上位を占め、

- ・「犬・猫の飼い主のマナー向上 (適正飼育の啓発など)」26.1% (昨年度 23.9%)
- ・「防犯や交通安全のための取り締まりや規制の強化」24.1% (昨年度 20.0%)
- ・「町の美化 (清掃活動、空地の除草、ごみ・タバコの吸い殻等のポイ捨て防止など)」22.7% (昨年度 23.2%)
- ・「ごみの出し方、分別のマナー向上やごみ減量化のための啓発活動」21.1% (昨年度 21.2%) とソフト系事業が続いています。

(4) 重点施策2『地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり』について

1)『地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり』の実現度



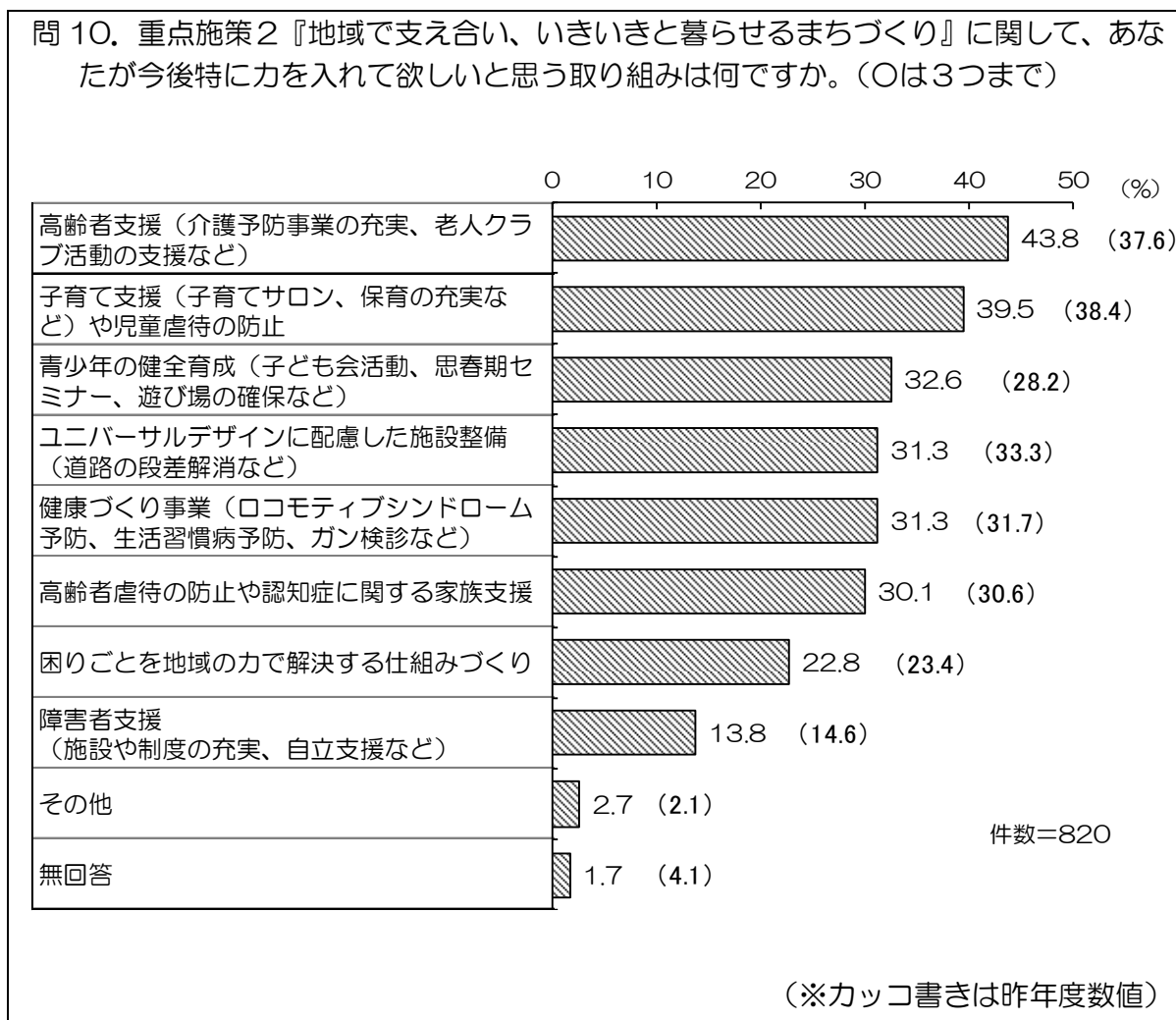
重点施策2『地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり』の実現度としては、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、

- ・「子育てしやすいまち」81.4% (昨年度 79.6%)
- ・「青少年が健全に育つまちづくりが進んでいる」75.7% (昨年度 73.5%)
- ・「高齢者や障害者の支援が進められている」68.9% (昨年度 65.7%)

となっており、昨年度から評価は向上しています。「区民の健康づくりが支援されている」は65%で、評価は横ばいとなっています。

一方、「そう思わない」という評価は、4項目とも2%台と僅かです。

2) 『地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり』に関して、今後力を入れて欲しい取り組み



重点施策2 『地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり』に関して、今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みとしては、

- ・「高齢者支援(介護予防事業の充実、老人クラブ活動の支援など)」43.8%(昨年度 37.6%)
- ・「子育て支援(子育てサロン、保育の充実など)や児童虐待の防止」39.5%(昨年度 38.4%)
- ・「青少年の健全育成(子ども会活動、思春期セミナー、遊び場の確保など)」32.6%(昨年度 28.2%)

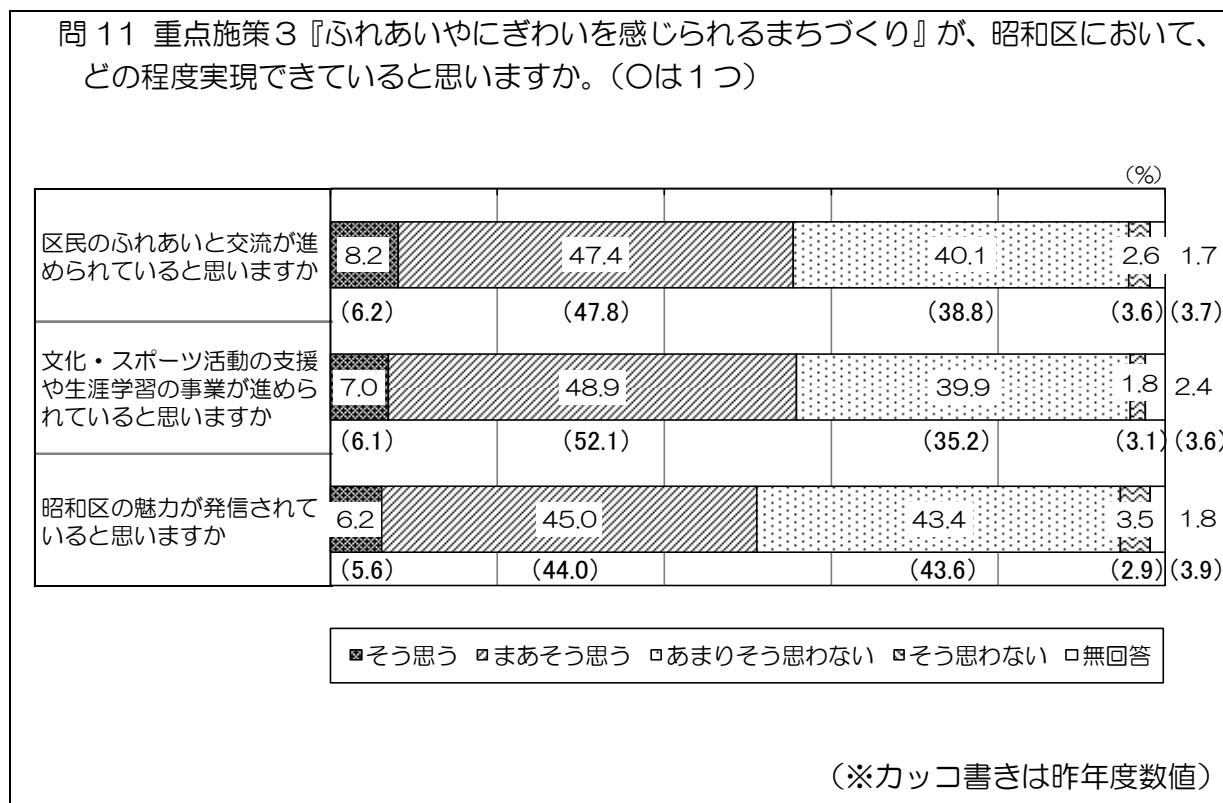
となっており、これらの項目へのニーズは昨年度より増えています。以下、

- ・「ユニバーサルデザインに配慮した施設整備(道路の段差解消など)」31.3%(昨年度 33.3%)
- ・「健康づくり事業(ロコモティブシンドローム予防、生活習慣病予防、ガン検診など)」31.3%(昨年度 31.7%)
- ・「高齢者虐待の防止や認知症に関する家族支援」30.1%(昨年度 30.6%)

が3割以上となっており、区民のニーズは多岐に渡っています。

(5) 重点施策3『ふれあいやにぎわいを感じられるまちづくり』について

1)『ふれあいやにぎわいを感じられるまちづくり』の実現度



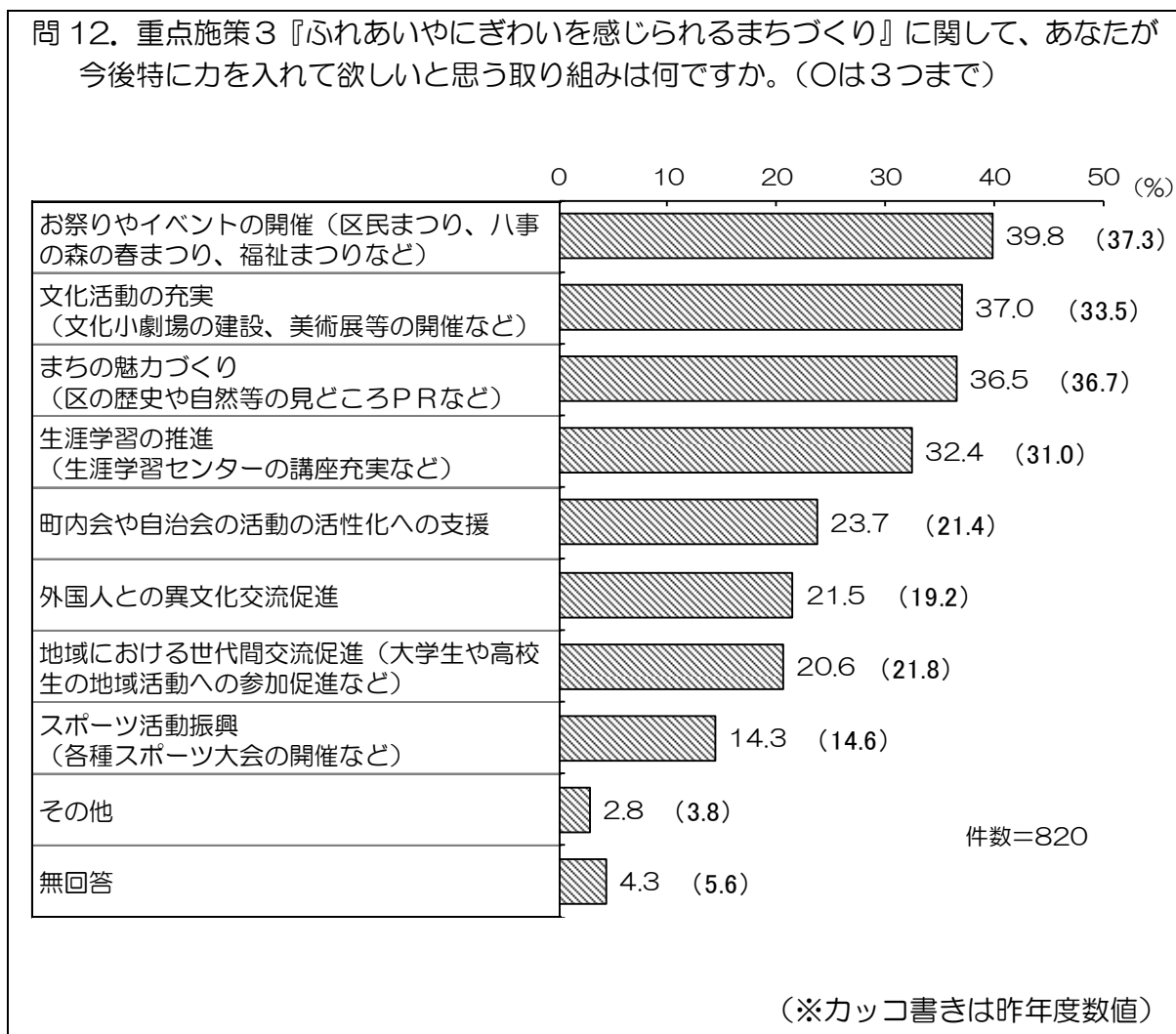
重点施策3『ふれあいやにぎわいを感じられるまちづくり』の実現度としては、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、

- ・「文化・スポーツ活動の支援や生涯学習の事業が進められている」55.9% (昨年度 58.2%)
- ・「区民のふれあいと交流が進められている」55.6% (昨年度 54.0%)
- ・「昭和区の魅力が発信されている」51.2% (昨年度 49.6%)

となっています。

また、「そう思わない」という評価の割合は、2~4%と少なくなっています。

2) 『ふれあいやにぎわいを感じられるまちづくり』に関して、今後力を入れて欲しい取り組み

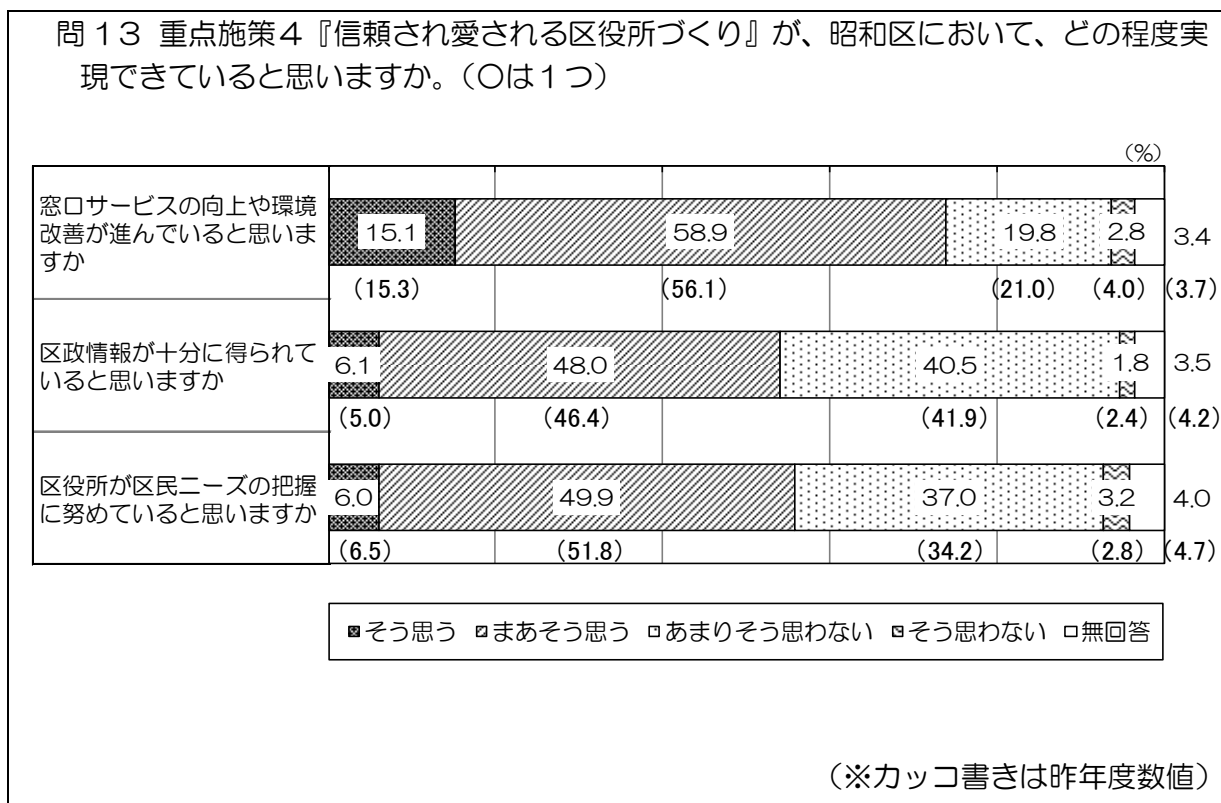


重点施策3 『ふれあいやにぎわいを感じられるまちづくり』に関して、あなたが今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みとしては、

- ・「お祭りやイベントの開催 (区民まつり、八事の森の春まつり、福祉まつりなど)」39.8% (昨年度 37.3%)
 - ・「文化活動の充実 (文化小劇場の建設、美術展等の開催など)」37.0% (昨年度 33.5%)
 - ・「まちの魅力づくり (区の歴史や自然等の見どころPR など)」36.5% (昨年度 36.7%)
 - ・「生涯学習の推進 (生涯学習センターの講座充実など)」32.4% (昨年度 31.0%)
- となっています。

(6) 重点施策4『信頼され愛される区役所づくり』について

1)『信頼され愛される区役所づくり』の実現度



重点施策4『信頼され愛される区役所づくり』に関しての実現度としては、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、

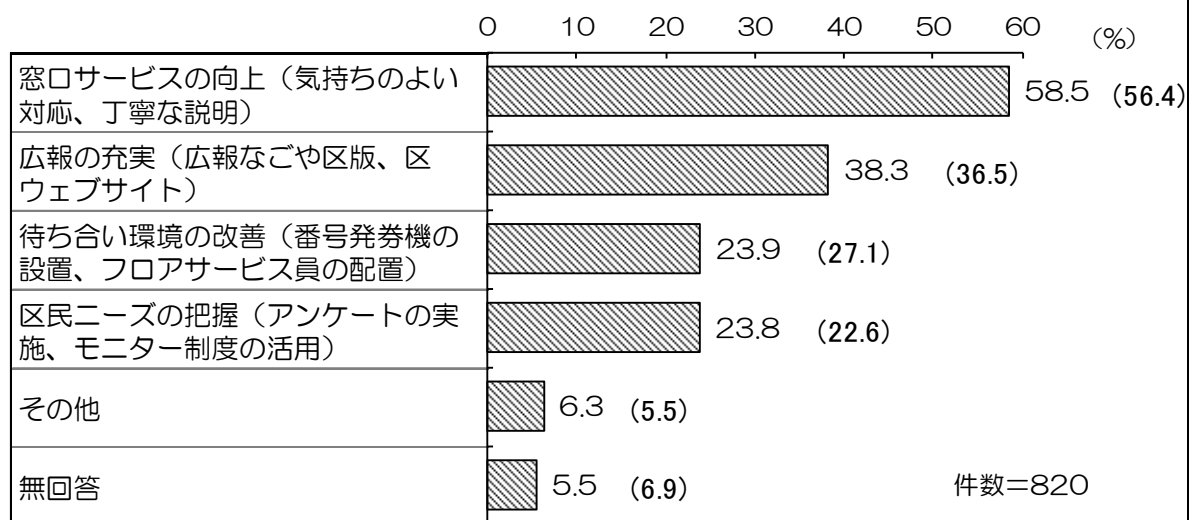
- ・「窓口サービスの向上や環境改善が進んでいる」74.0%（昨年度 71.4%）
- ・「区役所が区民ニーズの把握に努めている」55.9%（昨年度 58.3%）
- ・「区政情報が十分に得られている」54.1%（昨年度 51.4%）

となっています。

一方、「そう思わない」という評価の割合は、2~3%と僅かです。

2) 『信頼され愛される区役所づくり』に関して、今後力を入れて欲しい取り組み

問 14. 重点施策4 『信頼され愛される区役所づくり』に関して、あなたが今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みは何ですか。(〇は2 つまで)

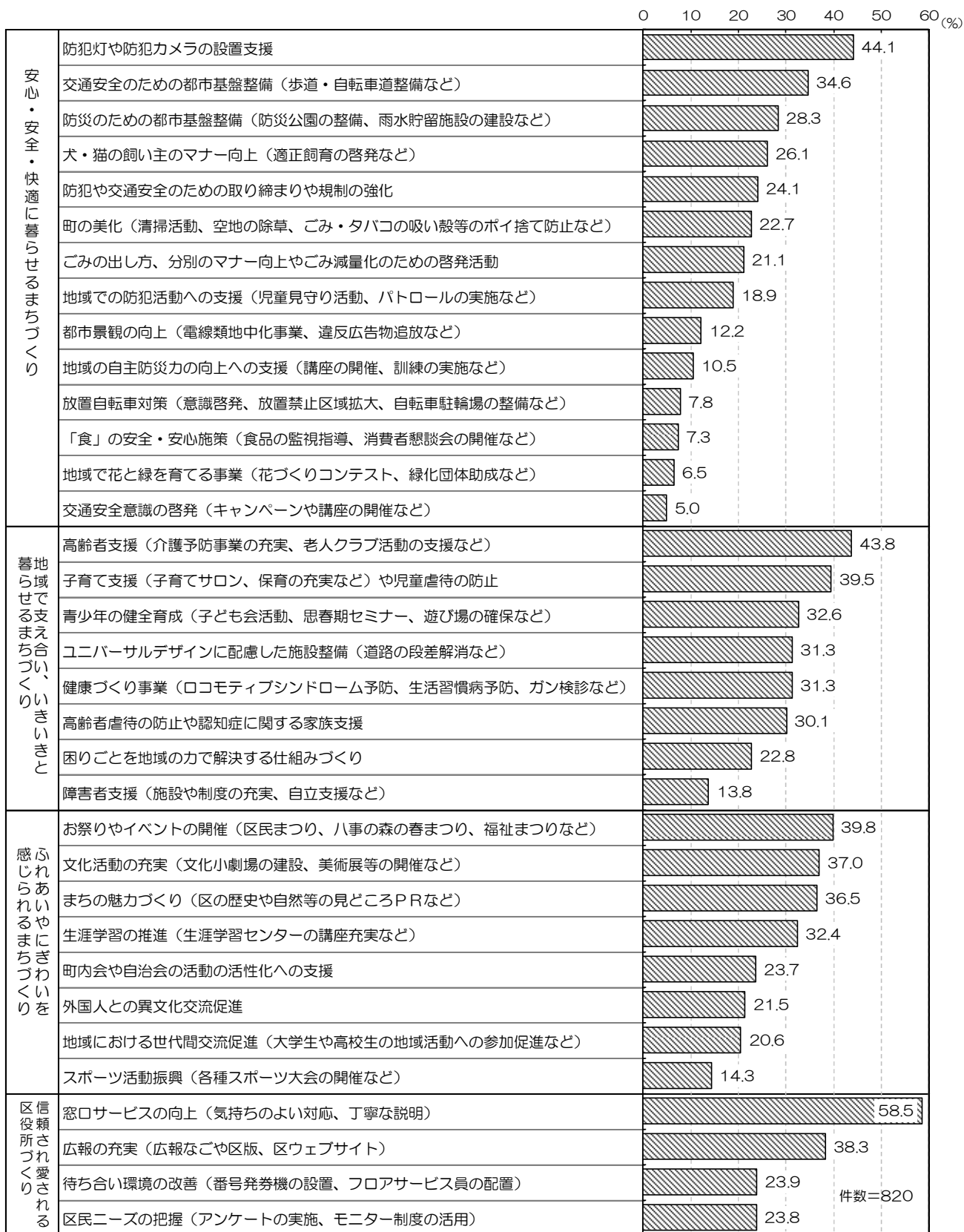


(※カッコ書きは昨年度数値)

重点施策4 『信頼され愛される区役所づくり』に関して、あなたが今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みとしては、「窓口サービスの向上 (気持ちのよい対応、丁寧な説明)」58.5% (昨年度 56.4%) が最も高く、6割程度の区民があげています。以下、

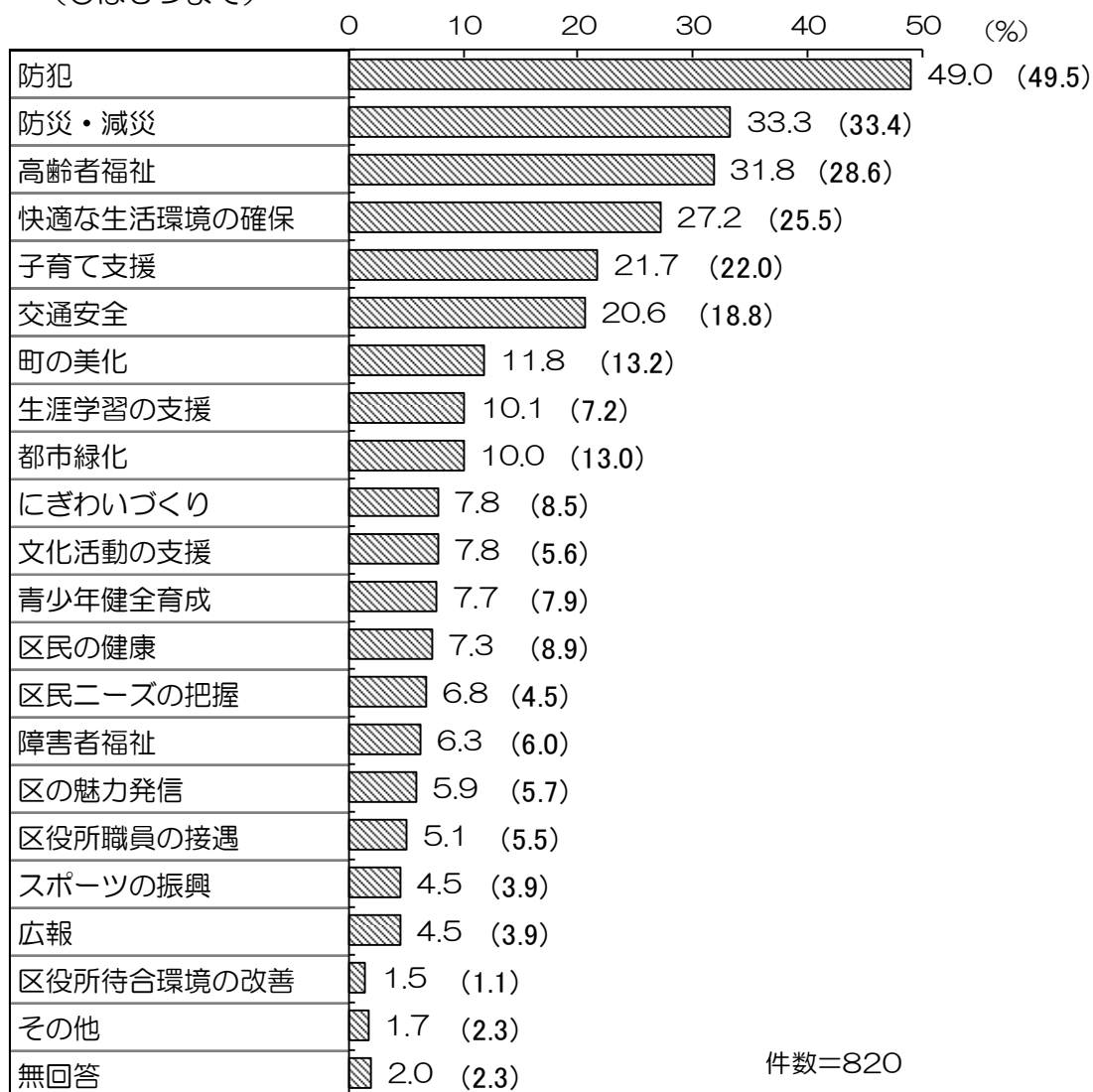
- ・「広報の充実 (広報なごや区版、区ウェブサイト)」38.3% (昨年度 36.5%)
 - ・「待ち合い環境の改善 (番号発券機の設置、フロアサービス員の配置)」23.9% (昨年度 27.1%)
 - ・「区民ニーズの把握 (アンケートの実施、モニター制度の活用)」23.8% (昨年度 22.6%)
- となっています。

今後力を入れて欲しいと思う取り組み



(7) 今後、昭和区として力を入れていくべき分野

問 15. 今後、昭和区として力を入れていくべき分野だと思うものは何ですか。
(〇は3つまで)



(※カッコ書きは昨年度数値)

今後、昭和区が力を入れていくべき分野としては、

- ・「防犯」49.0% (昨年度 49.5%)
- ・「防災・減災」33.3% (昨年度 33.4%)
- ・「高齢者福祉」31.8% (昨年度 28.6%)
- ・「快適な生活環境の確保」27.2% (昨年度 25.5%)
- ・「子育て支援」21.7% (昨年度 22.0%)
- ・「交通安全」20.6% (昨年度 18.8%)

となっており、上位項目の順位は昨年度と同じとなっています。

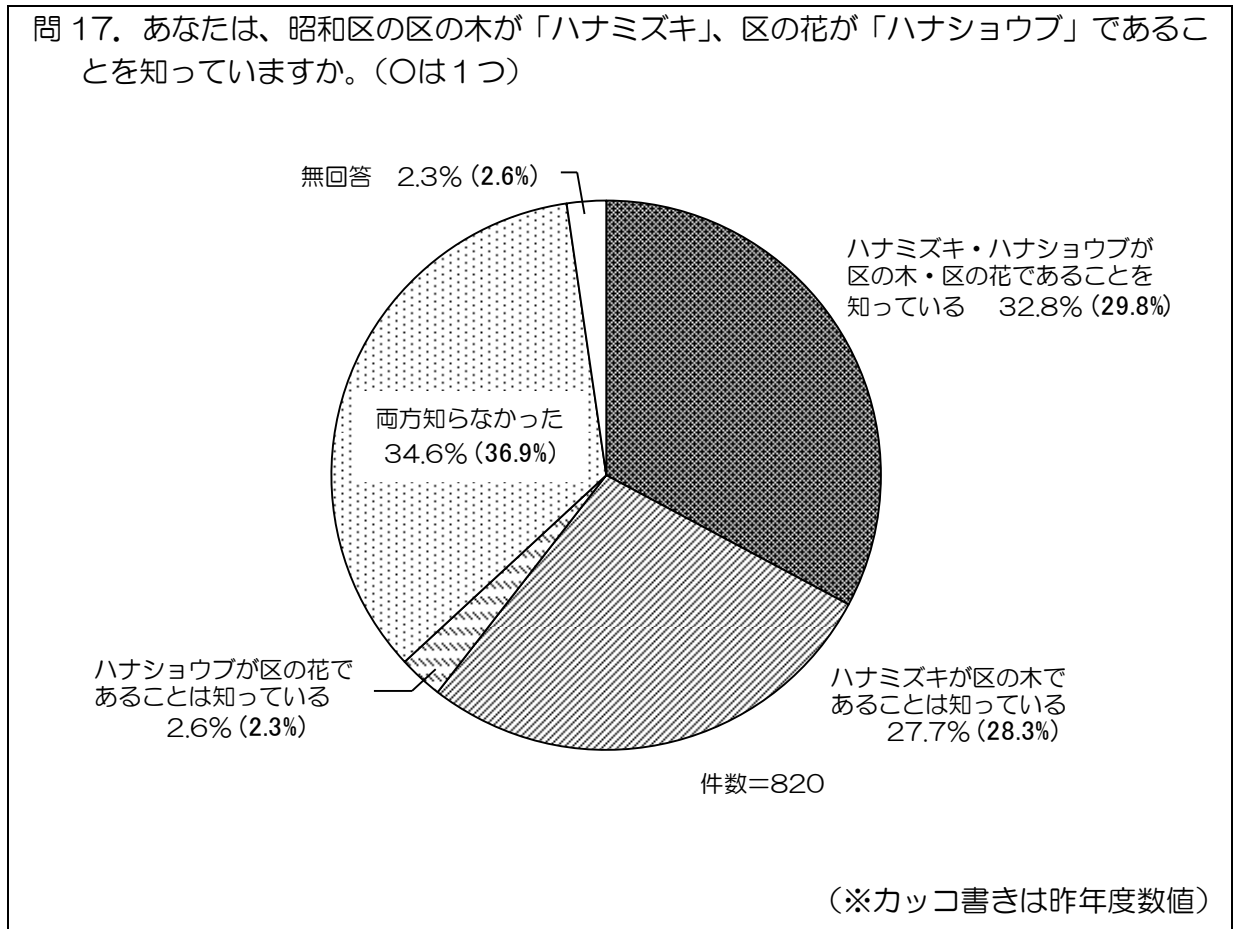
(8) 昭和区に期待することや意見

問 16. あなたが昭和区に期待することや意見などがありましたら自由に記入ください。

昭和区に期待することやご意見などを自由回答形式でたずねたところ、防犯、交通安全や快適できれいなまちづくり、子育て等 203 件の意見等があげられました。

3 区役所で行っている具体的な事業に関連したことについて

(1) 昭和区の区の木、区の花の認知状況



昭和区の区の木が「ハナミズキ」、区の花が「ハナショウブ」であることの認知度としては、

- ・「ハナミズキ・ハナショウブが区の木・区の花であることを知っている」32.8% (昨年度 29.8%)

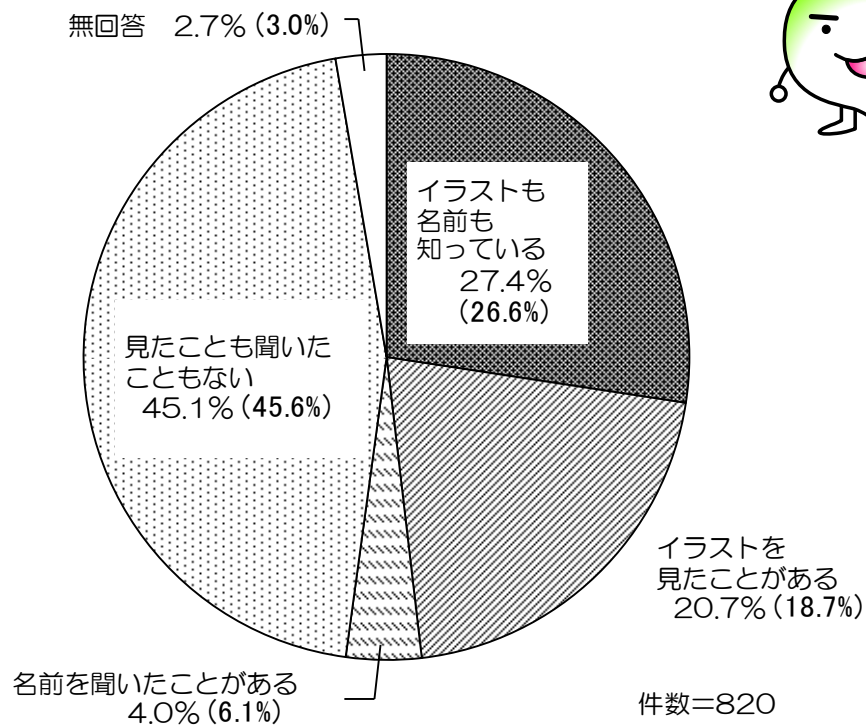
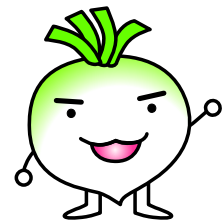
- ・「ハナミズキが区の木であることは知っている」27.7% (昨年度 28.3%)

この2つを合わせた区の木認知率は60.5% (昨年度 58.1%) となっています。

一方、区の花認知率は「ハナショウブが区の花であることは知っている」2.6% (昨年度 2.3%) を合わせて35.4% (昨年度 32.1%) となっています。

(2) 昭和区のマスコット「ショウちゃん」について

問 18. あなたは、昭和区のマスコット「ショウちゃん」(下記イラスト)を知っていますか。
(〇は1つ)



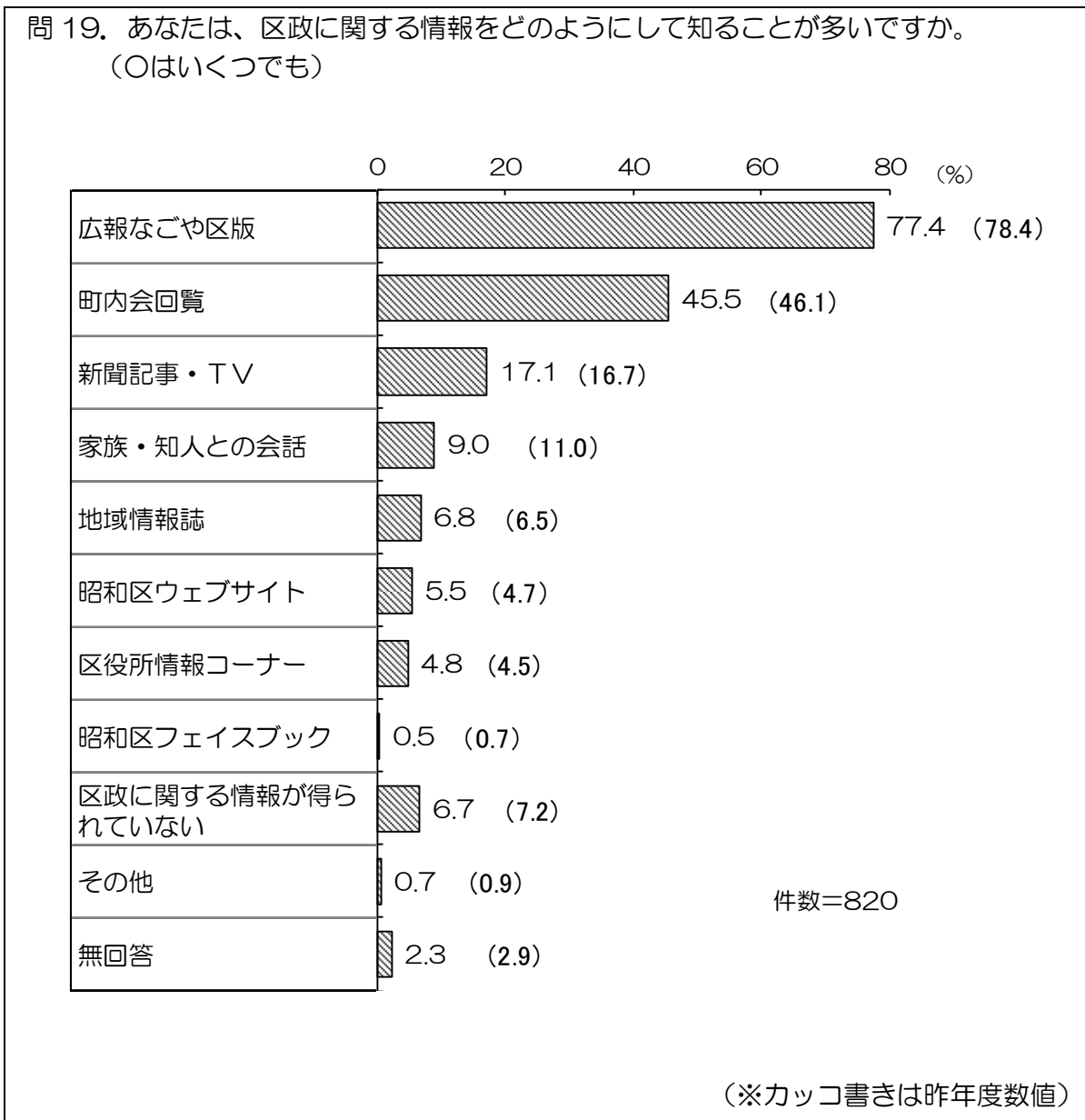
(※カッコ書きは昨年度数値)

昭和区のマスコット「ショウちゃん」の認知状況としては、

- ・「イラストも名前も知っている」27.4% (昨年度 26.6%)
- ・「イラストを見たことがある」20.7% (昨年度 18.7%)
- ・「名前を聞いたことがある」4.0% (昨年度 6.1%)

となっています。この3つを合わせた、見聞きしたことがある割合は 52.1% (昨年度 51.4%) となっています。

(3) 区政に関する情報の入手経路



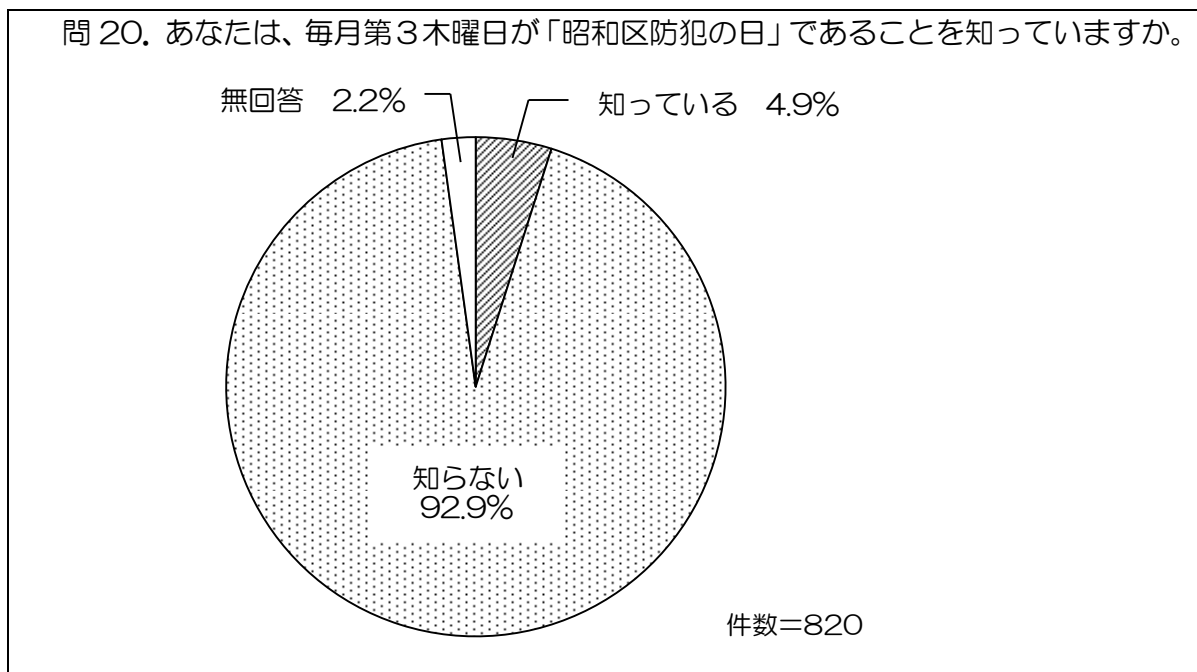
区政に関する情報の入手先については、

- ・「広報なごや区版」77.4%（昨年度 78.4%）
- ・「町内会回覧」45.5%（昨年度 46.1%）

と地域に密着した紙媒体からとなっています。

一方、「区政に関する情報が得られていない」が6.7%（昨年度 7.2%）みられます。

(4) 「昭和区防犯の日」の認知状況

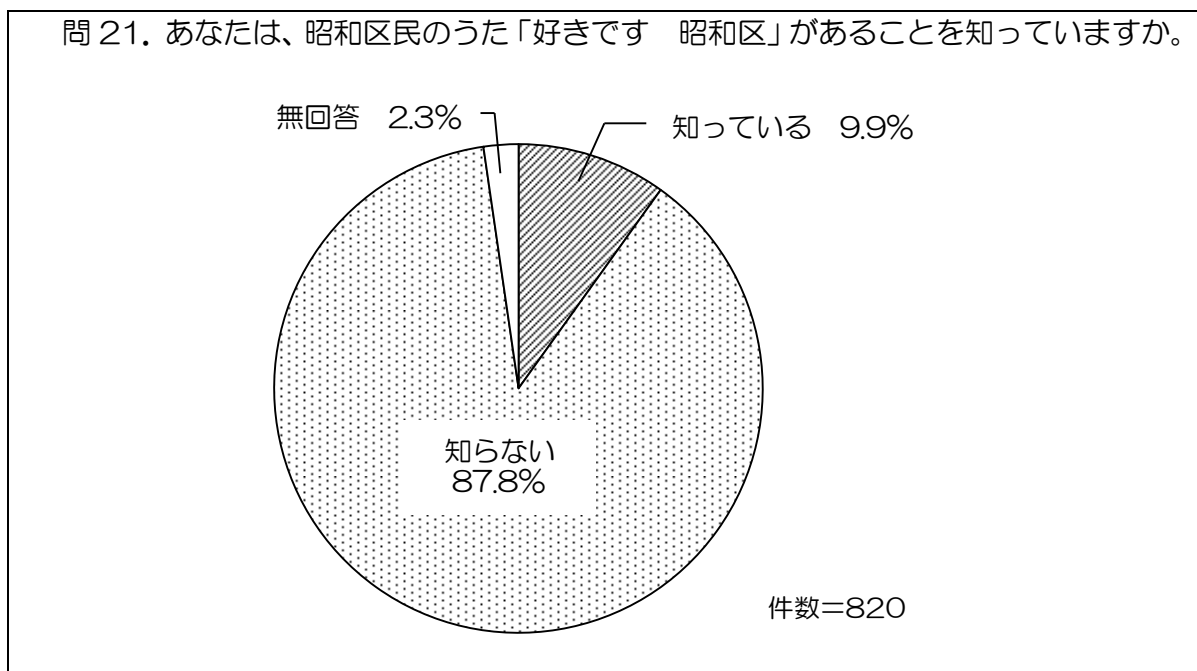


毎月第3木曜日が「昭和区防犯の日」であることの認知状況としては、

- ・「知っている」4.9%
- ・「知らない」92.9%

となっており、あまり区民に周知されていません。

(5) 昭和区のうた「好きです 昭和区」の認知状況



昭和区民のうた「好きです 昭和区」があることの認知状況としては、

- ・「知っている」9.9%
- ・「知らない」87.8%

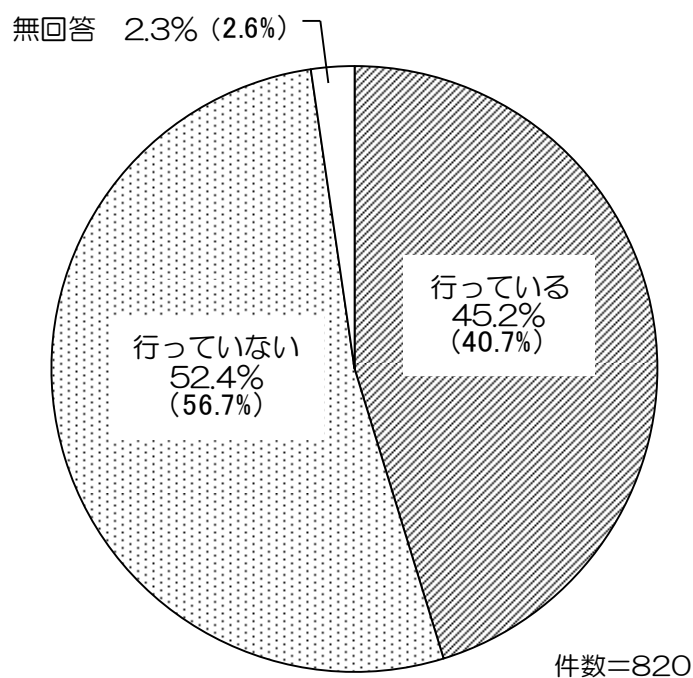
となっています。

4 家庭での震災対策について

(1) 家具の転倒防止について

1) 家具の転倒防止の実施度

問 22. あなたは、地震から命を守るため、冷蔵庫、タンス、食器棚などの家具の転倒防止を行っていますか。



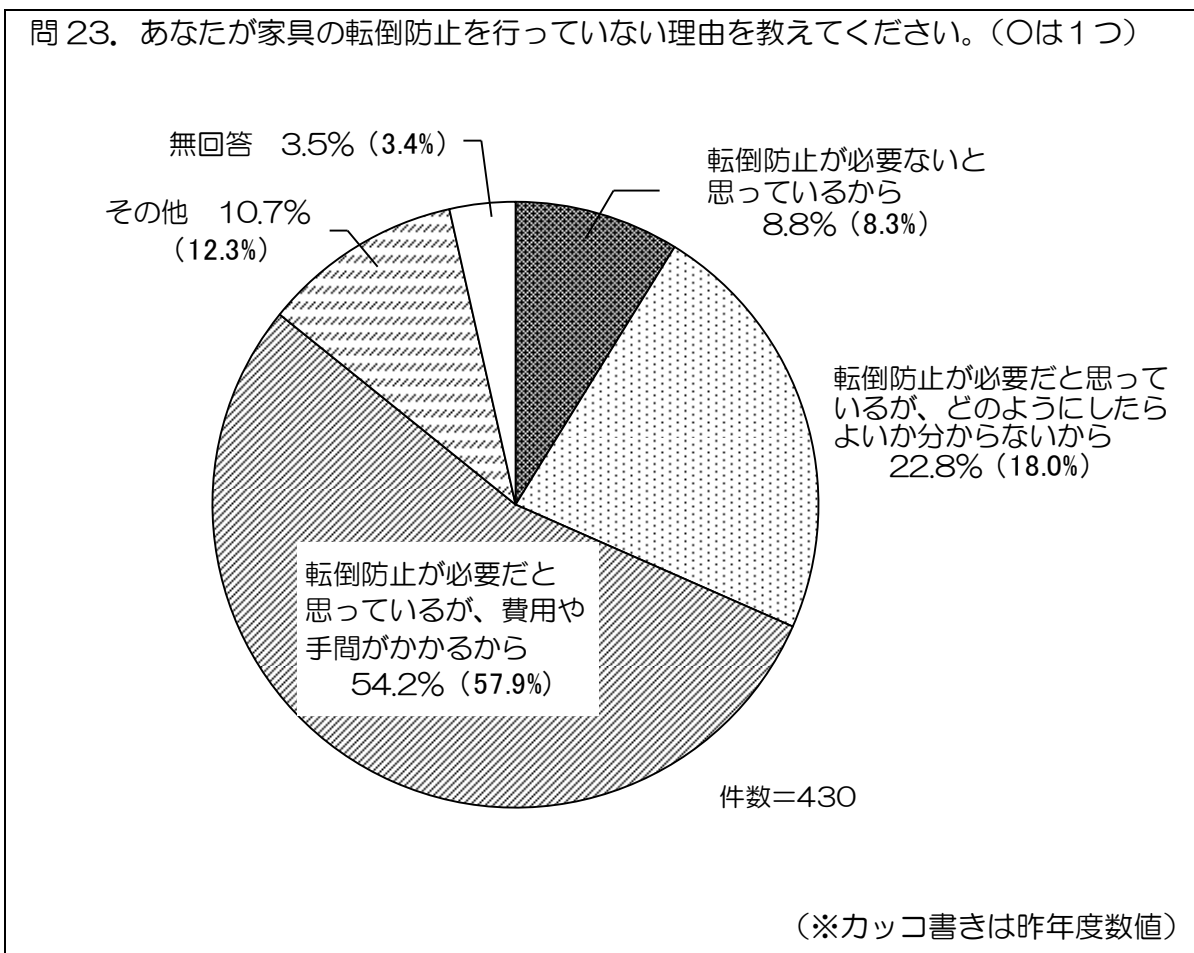
(※カッコ書きは昨年度数値)

地震から命を守るため、冷蔵庫、タンス、食器棚などの家具の転倒防止については、

- ・「行っている」45.2% (昨年度 40.7%)
- ・「行っていない」52.4% (昨年度 56.7%)

となっており、家具の転倒防止の実施割合は増えています。

2) 家具の転倒防止を行っていない理由



家具の転倒防止を行っていない方（430人）の理由としては、

- ・「転倒防止が必要だと思っているが、費用や手間がかかるから」54.2%（昨年度 57.9%）
- ・「転倒防止が必要だと思っているが、どのようにしたらよいか分からないから」22.8%（昨年度 18.0%）

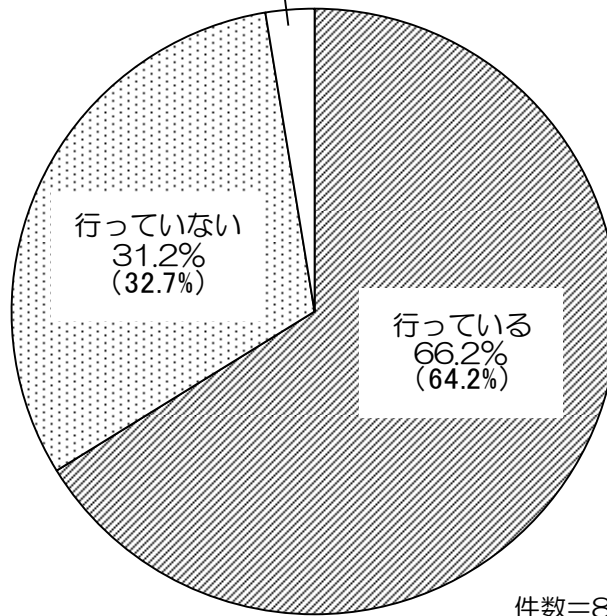
であり、合わせた 77.0%（昨年度 75.9%）が家具の転倒防止は必要だと思っています。

(2) 食料や飲料水の備蓄について

1) 食料や飲料水の備蓄の実施度

問 24. あなたは、災害に備えて、食料や飲料水の備蓄を行っていますか。

無回答 2.6% (3.1%)



件数=820

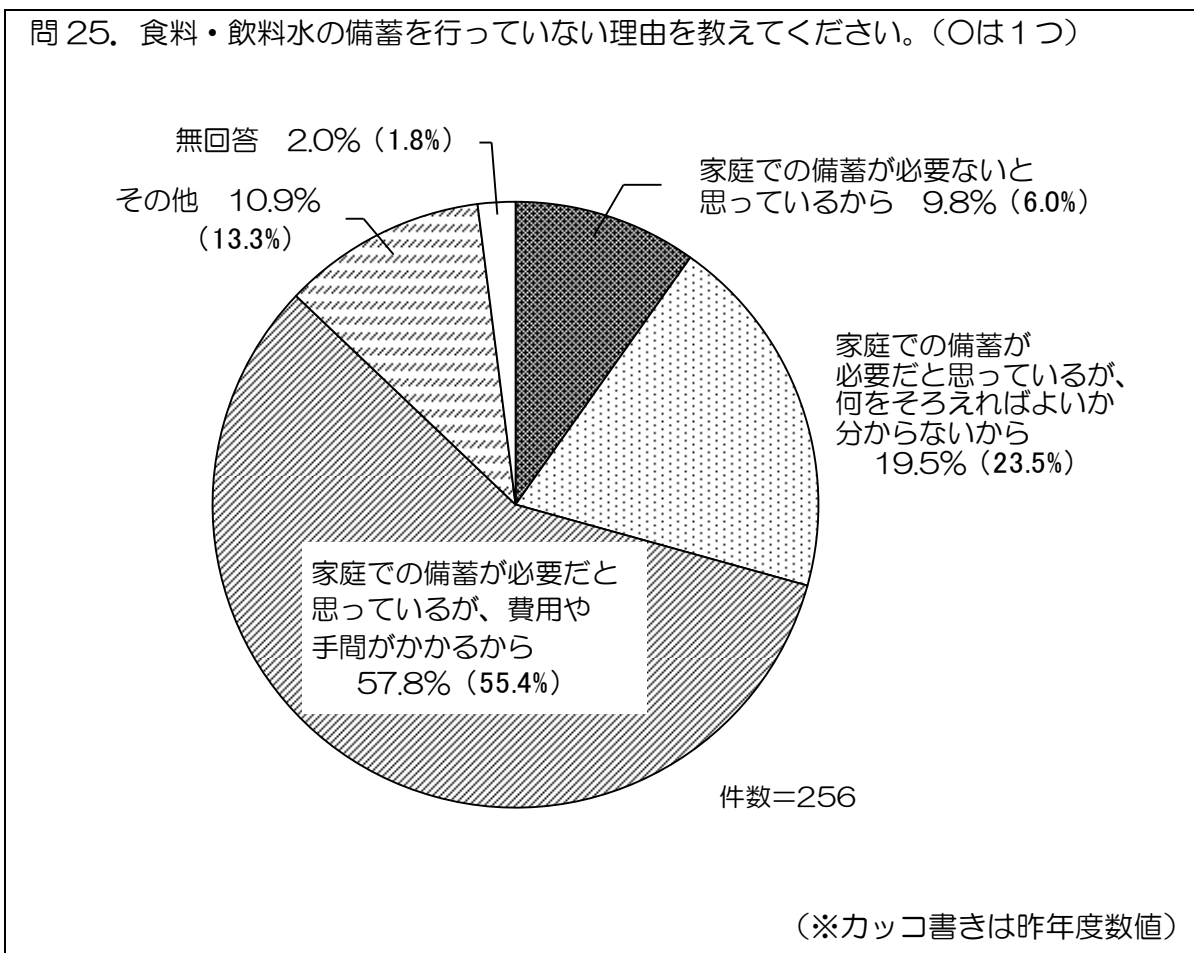
(※カッコ書きは昨年度数値)

災害に備えて、食料や飲料水の備蓄については、

- ・「行っている」66.2% (昨年度 64.2%)
- ・「行っていない」31.2% (昨年度 32.7%)

となっています。

2) 食料・飲料水の備蓄を行っていない理由



食料や飲料水の備蓄を行っていない方(256人)の理由としては、

- ・「家庭での備蓄が必要だと思っているが、費用や手間がかかるから」57.8% (昨年度 55.4%)
- ・「家庭での備蓄が必要だと思っているが、何をそろえればよいか分からないから」19.5% (昨年度 23.5%)

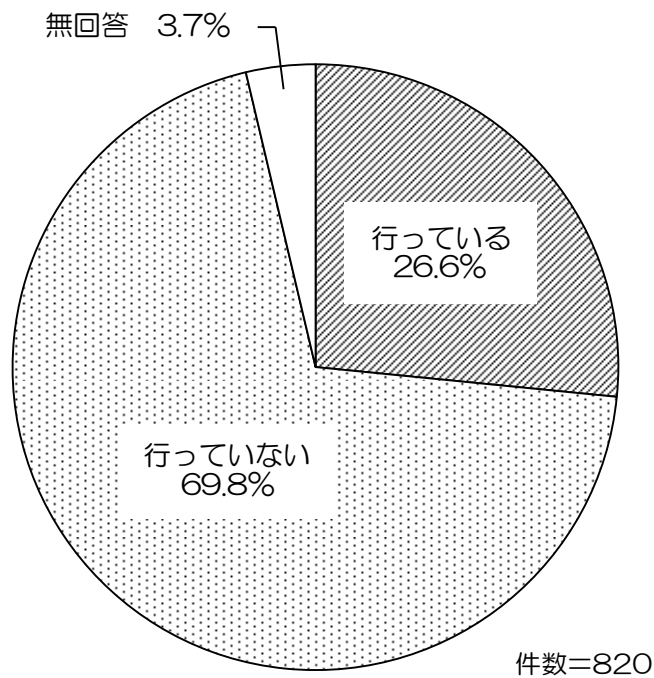
であり、合わせた 77.3% (昨年度 78.9%) が家庭での備蓄が必要だと思っています。

(3) 携帯トイレの備蓄について

1) 携帯トイレの備蓄の実施度

問 26. あなたは、災害時の上下水道の停止に備えて、断水時でも使用できる携帯トイレ（※）の備蓄を行っていますか。

※簡易パック式トイレを指します。凝固剤で汚物を固め、使用後は可燃ゴミとして処理することができます。



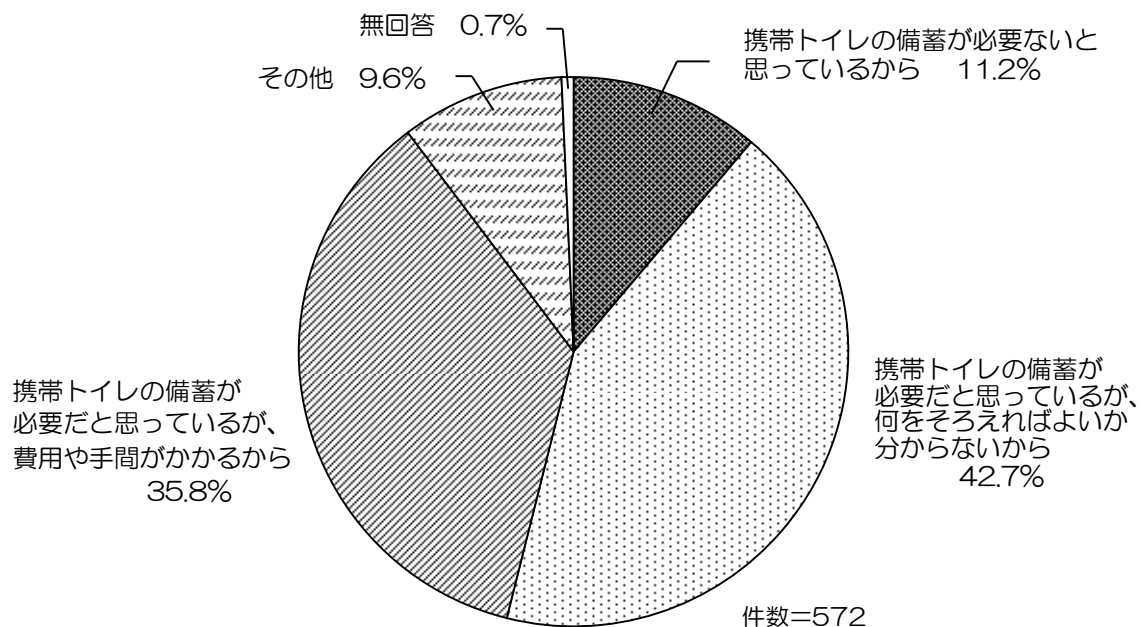
災害時の上下水道の停止に備えて、断水時でも使用できる携帯トイレの備蓄については、

- ・「行っている」 26.6%
- ・「行っていない」 69.8%

となっています。

2) 携帯トイレの備蓄を行っていない理由

問 27. 携帯トイレの備蓄を行っていない理由をお教えてください。(〇は1つ)



携帯トイレの備蓄を行っていない方（572人）の理由としては、

- ・「携帯トイレの備蓄が必要だと思っているが、何をそろえればよいか分からないから」42.7%
 - ・「携帯トイレの備蓄が必要だと思っているが、費用や手間がかかるから」35.8%
- であり、合わせた78.5%と8割が携帯トイレの備蓄が必要だと思っています。